

金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品改修等業務委託

○目的

本業務は、玉川図書館の建築的価値に配慮した改修工事に伴い、建物の意匠と統一感のある空間を創出するため、昭和54年の開館当初から使用している書架、閲覧椅子等の改修、修繕等を行うものである。

1. 設置場所

金沢市玉川町2-20

玉川図書館の各室・コーナー（※4. 改修備品一覧参照、別紙配置図参照）

詳細な設置場所は発注者が指示する。

2. 業務期間

契約締結の日から令和8年12月10日（木）まで

ただし、公開ホール及び参考資料室に設置する書架については、令和8年10月27日までに設置を完了すること。

3. 注意事項

- ・ 備品の設置は落札者において行うこととし、搬入の際、建築物等を傷つけたり破損したりしないよう注意するとともに、必要に応じ養生すること。建築物等を傷つけたり破損した場合は受注者の責任において修復すること。
- ・ 什器にはホルムアルデヒドなどシックハウス症候群の原因となる化学物質を使用しないこと。
- ・ 什器の製作にあたり、知的財産権に関わる部分がある場合は、その所有者と実施許諾契約を締結するなど問題が生じないようにすること。
- ・ 固定する備品は震度7クラスの耐震性を有する（転倒しない）ものとする。
- ・ 玉川図書館改修工事（建築工事、各種設備工事）は令和8年9月30日まで、外構に係る工事は令和9年3月17日まで施工中であるため、各施工者と調整を図りながら、業務に万全を期すこと。

4. 改修備品一覧 ※特記事項は各参考図面及び備考欄に記載

番号	品名	数量	設置場所	参考図面	備考
1	閲覧椅子 A1 (既存)	21	公開ホール (20)	図面1 Aタイプ	Arflex SIGNAL チェア Low (川上元美) W670×D670×H740(×SH350mm) 背及び背面ビニールレザー張替え、 背内部フレーム用金具の交換、 スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ)※塗装色はサンプルにて決定、スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換、

					スチール脚部プラパートは同等品に置換
2	閲覧椅子 A2 (既存)	30	公開ホール (30)	図面 1 B タイプ	Arflex SIGNAL チェア High (川上元美) W570×D570×H930(×SH450mm) 背及び背面ビニールレザー張替え、 背内部フレーム用金具の交換、 スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ)※塗装色はサンプルにて決定、スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換、 スチール脚部プラパートは同等品に置換
3	閲覧椅子 B (既存)	28	参考資料室(12) 会議室 (16)	図面 2	HOUTOKU Kusch+Co W470×D490×H760(×SH450) 背及び座面ビニールレザー張り替え、スチール脚フレーム磨き
4	木製書架(既存)	34	公開ホール	図面 3	修繕(28)、 既存部材を使い、側板補修のサンプル※を製作の上、決定。その後、工場にて加工 側板：補修_集成材表面キズ・日焼け跡補修・再塗装(無黄変タイプ)※サンプルにて決定、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定 改修(6) 既存部材に合わせサンプル製作の上、決定。その後、既存書架の部材を一部再利用し改造後、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定※既存書架・什器とよくなじませること、新規製作部材※書架側板はサンプルにて決定
5	木製棚修繕 (既存)	7	参考資料室	—	W2, 740×D470×H2, 185 高さを既存 2, 185 から 2, 070 へ改造 (天板取り外し、側板・中間帆立をカット後天板再取付)側板表面キズ、日焼け跡補修後再塗装(無黄変タイプ)、No. 6 木製棚製作(新規)のサンプルとよくなじませ、ビス穴埋め木

					などタッチアップ、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定など転倒防止
6	木製棚製作 (新規)	1	参考資料室	図面 4	W2, 740×D470×H2, 070 新レイアウトに配置、床アンカー固定など転倒防止 ※No. 5 木製棚修繕 (既存) となじませるため、使う材料はサンプルにて決定
7	閲覧机(既存)	3	参考資料室	—	天板、側板補修：集成材表面キズ、日焼け補修後再塗装(無黄変タイプ) 新設什器のナラのサンプルとよくなじませること※サンプルにて決定 修繕後、新レイアウトに設置
8	雑誌用書架 (既存)	3	公開ホール	—	W1, 800×D800×H1, 180 複式6列3段2連 キズ補修・タッチアップ・塗装(無黄変タイプ)、新レイアウトに設置、床アンカー固定※既存書架並びに既存改造書架とよくなじませること
9	雑誌(寄贈)用 書架(既存)	3	公開ホール	—	W1, 060×D700×H1, 200 複式4段1連 キズ補修・タッチアップ・塗装(無黄変タイプ)、新レイアウトに設置、床アンカー固定※既存書架、既存改造書架とよくなじませること

5. 業務の方針

- (1) 本業務は、「金沢市立玉川図書館改修工事(建築工事)」との関連性が高く、素材、仕上げ、工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書を確認し、改修工事設計者と十分調整すること。
- (2) 「金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務」の特記仕様書を適用すること。
- (2) 当該業務の実施にあたり、関係機関、関係者からの意見には適切に対応すること。
- (3) 改修する備品は、泉本町倉庫(金沢市泉本町5丁目79番地)に保管しているため、当該倉庫からの搬出は受注者が行うこと。※別紙位置図参照

6. 業務内容の疑義

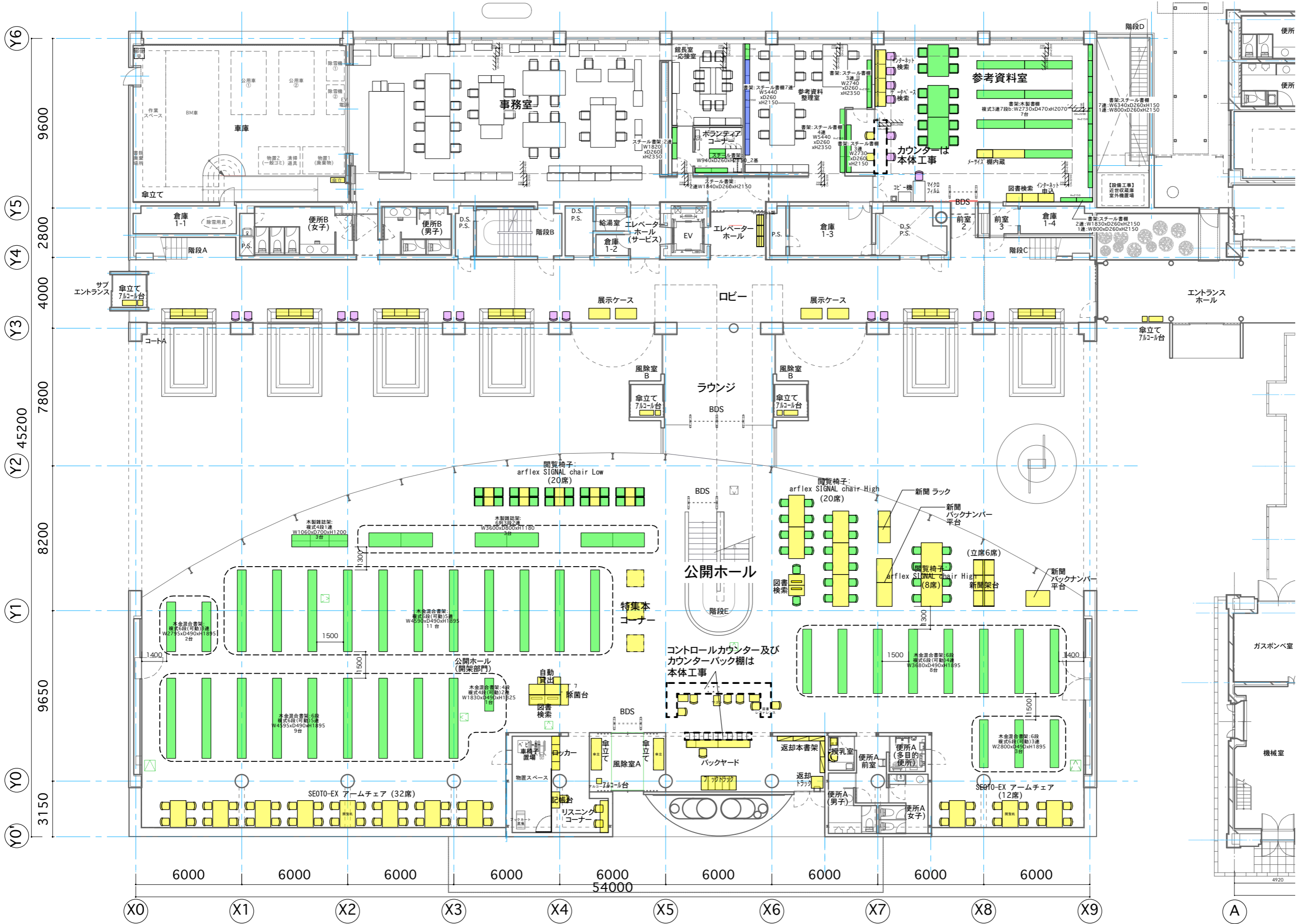
受注者は、業務の内容に疑義又は不明な事項が生じた場合、発注者と事前に協議の上、その指示に従うこと。

7. 軽微な変更

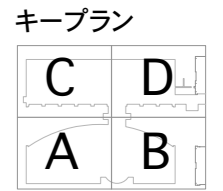
本業務において、やむを得ず生じる軽微な変更に関しては、発注者の指示に従うものとし、契約金額の変更は行わない。

8. 参考資料

- ・ 玉川図書館配置図、対象備品姿図、図面 1～4
- ・ 「金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務」：特記仕様書
- ・ 泉本町倉庫位置図

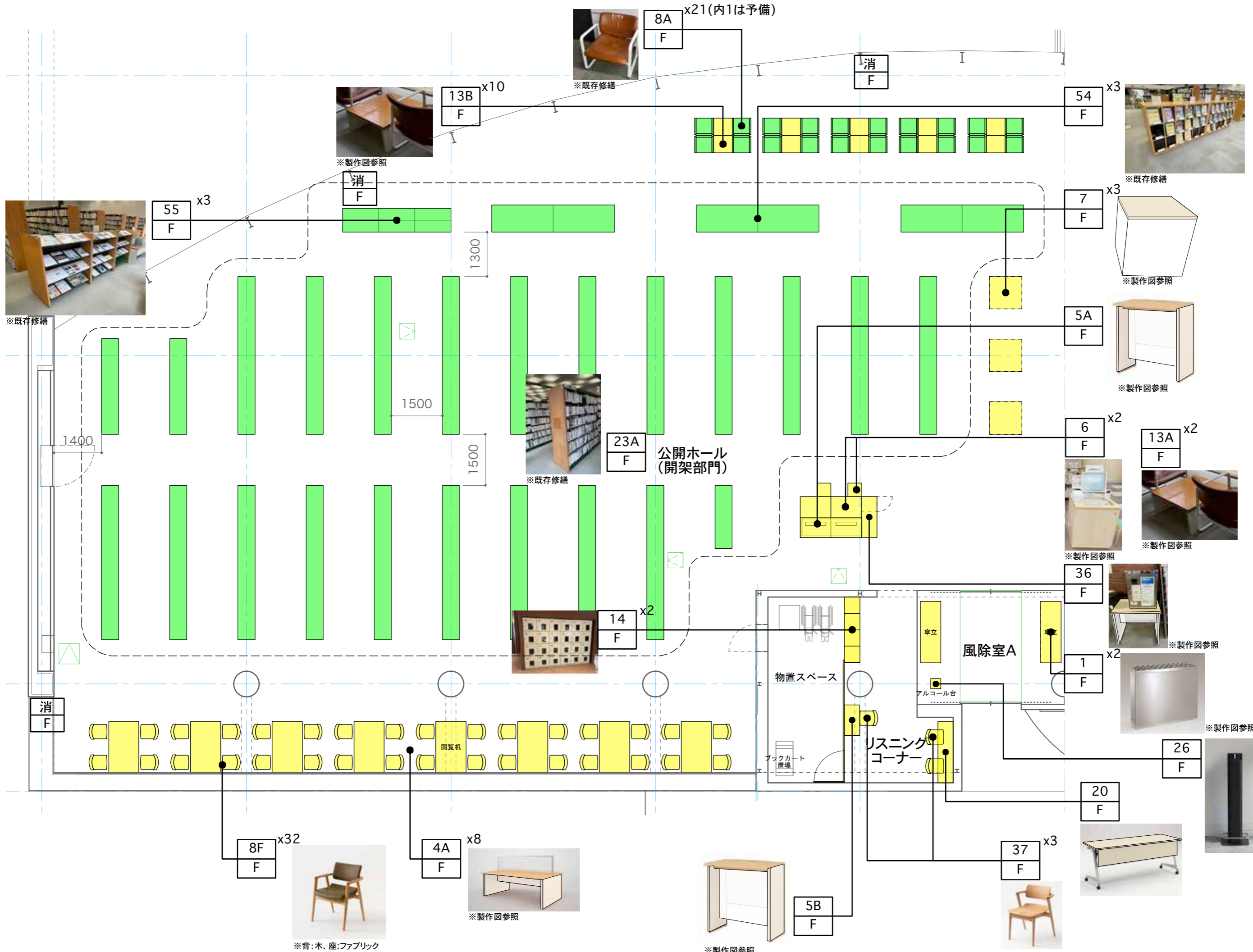


共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

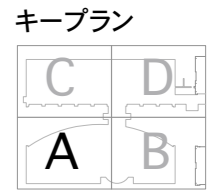


- 凡例
- : 新規/特注
 - : 輸入家具
 - : 既存使用
 - : 修繕・改造

改修
 什器キープラン
 1F
 1/200(A3)

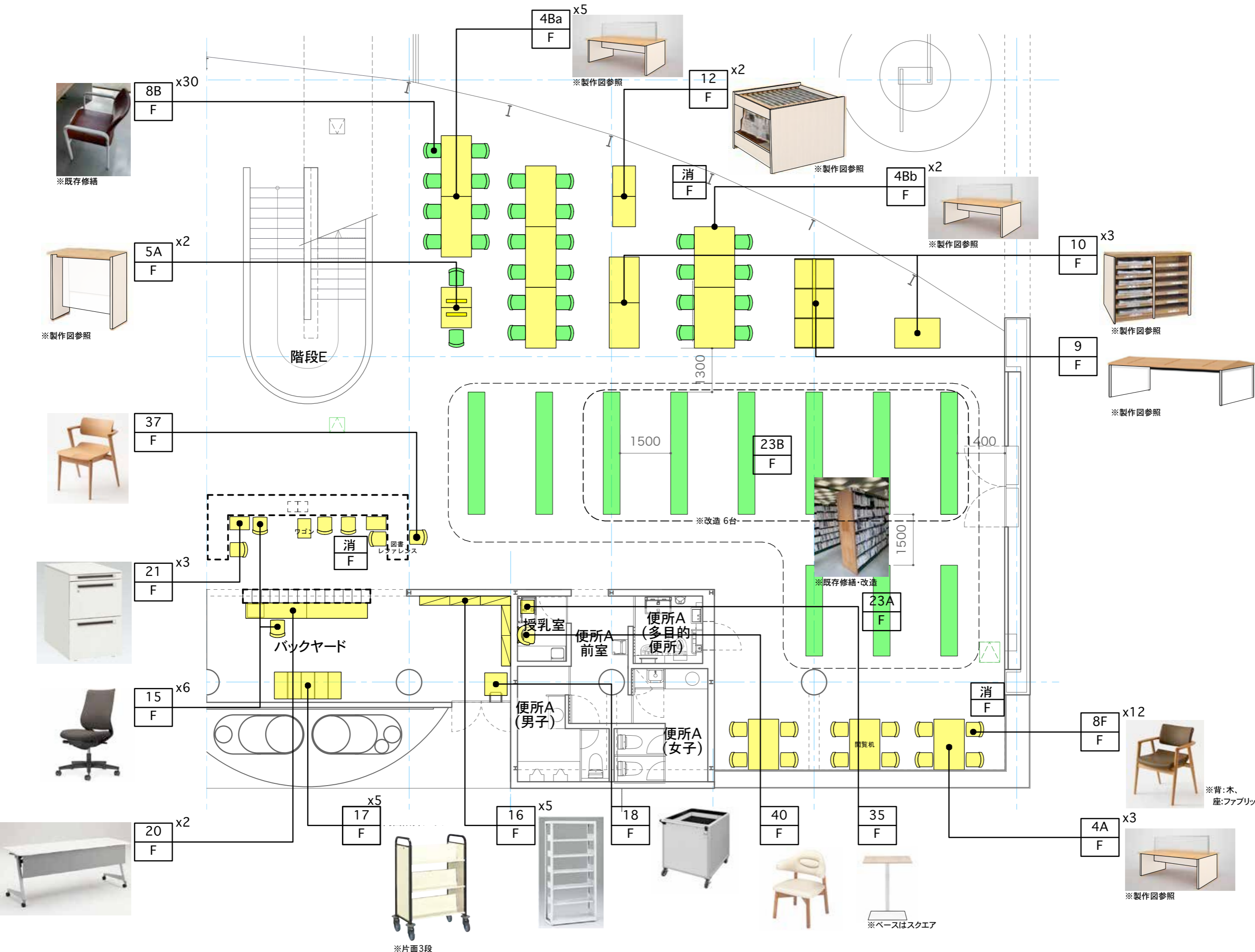


共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

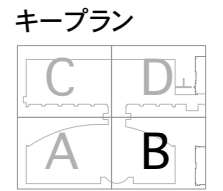


- 凡例
- : 新規/特注
 - : 輸入家具
 - : 既存使用
 - : 修繕・改造

改修
 詳細什器キープラン
 1F-A
 1/100(A3)



共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

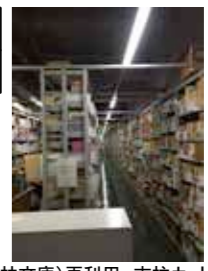


- 凡例
- 新規/特注
 - 輸入家具
 - 既存使用
 - 修繕・改造

改修
 詳細什器キープラン
 1F-B
 1/100(A3)



44
F

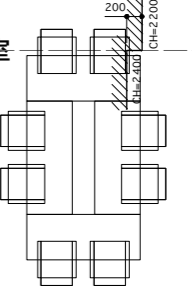


※既存地下書架(小林文庫)再利用_支柱カット

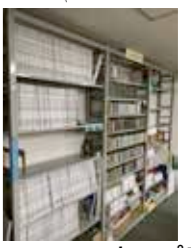
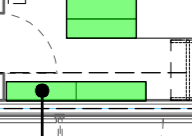
50
F x4



館長室
・
応接室



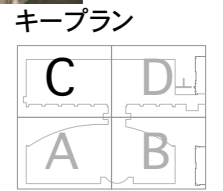
ボランティア
コーナー



45
F

※既存再利用

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。



- 凡例
- : 新規/特注
 - : 輸入家具
 - : 既存使用
 - : 修繕・改造

41
F x2



※製作図参照

26
F



※製作図参照

51
F x4



※製作図参照

8D
F x8



2
F

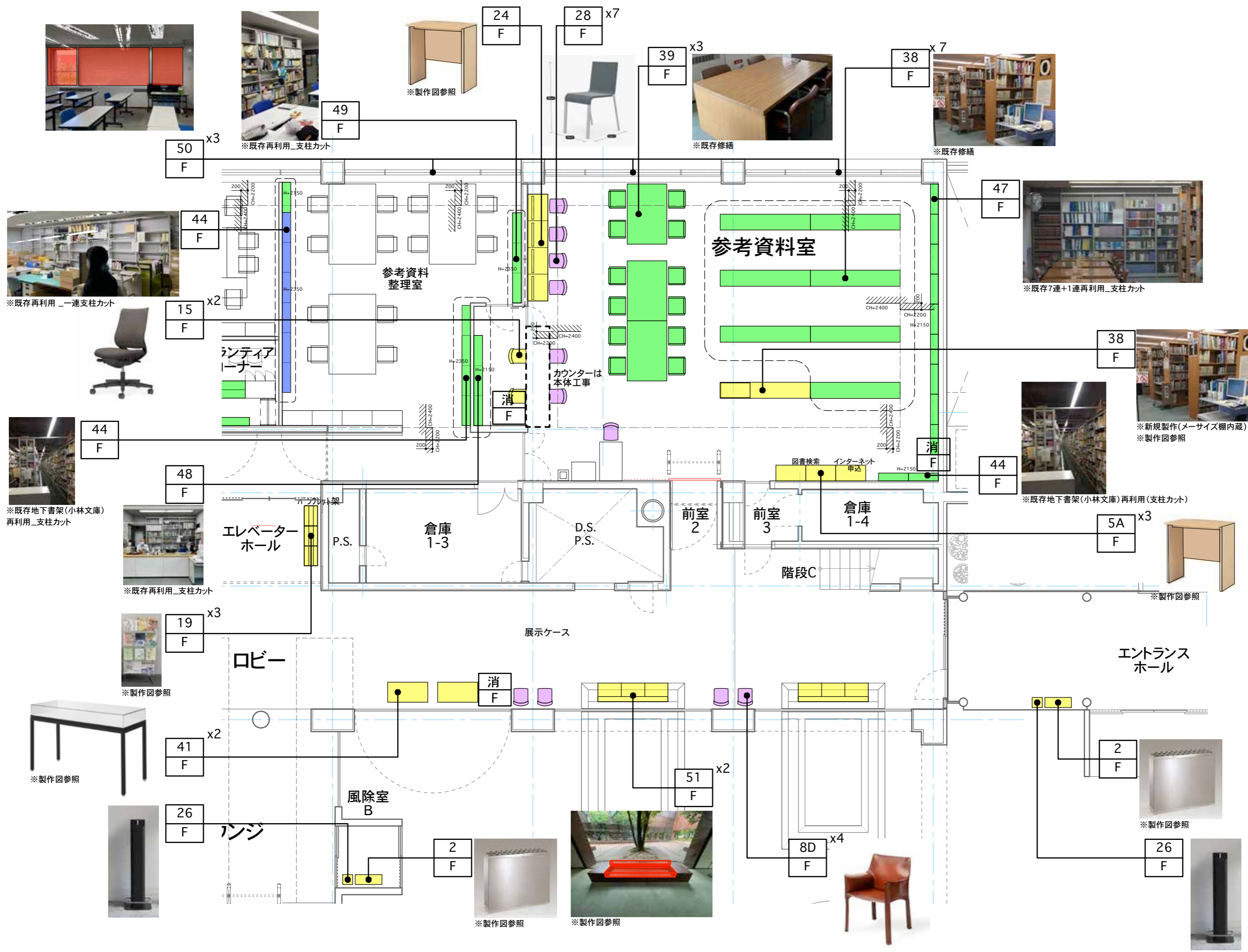


※製作図参照

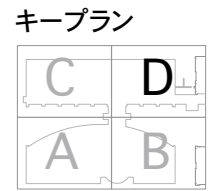
26
F



改修
詳細什器キープラン
1F-C
1/100(A3)

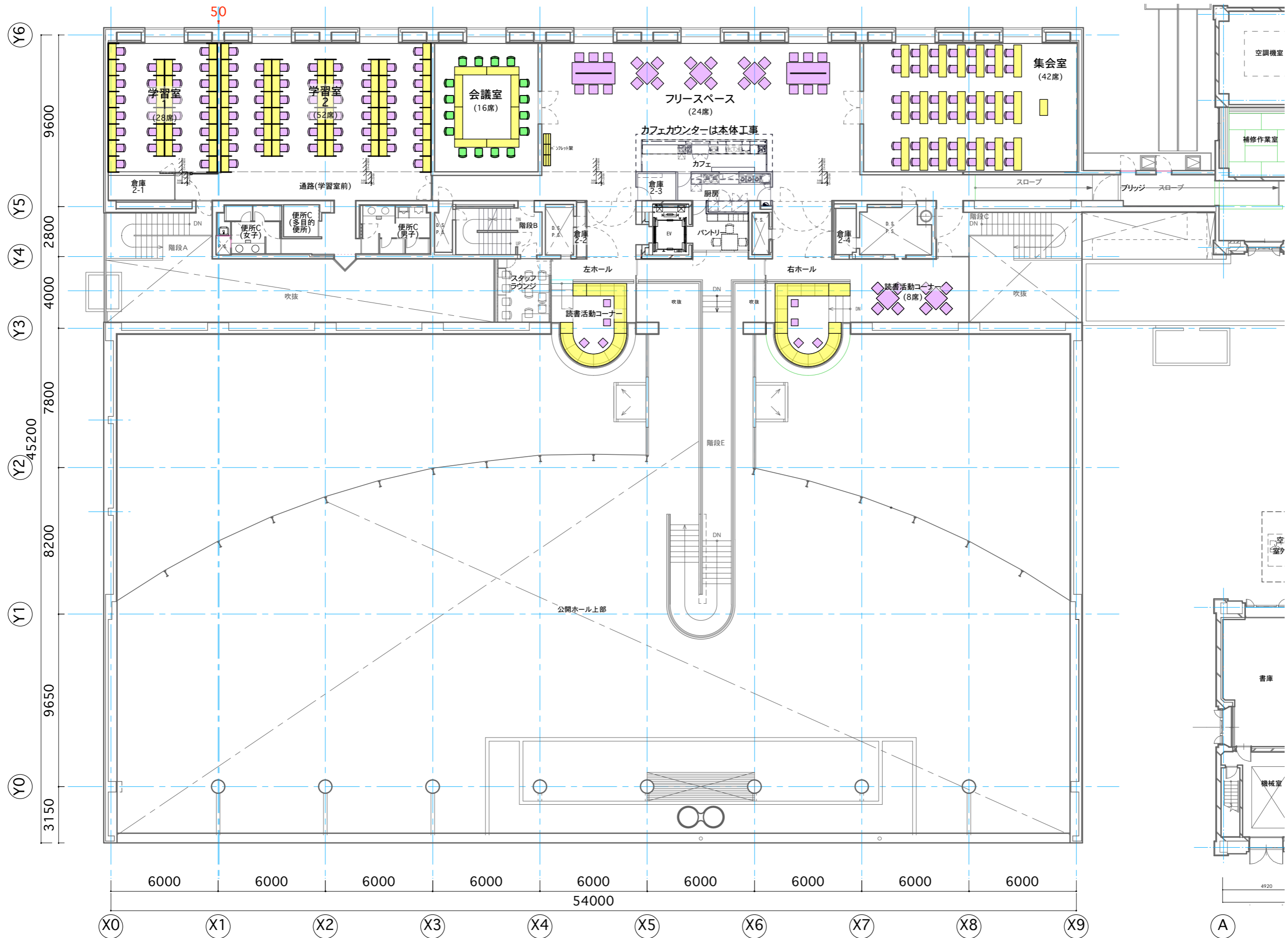


共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

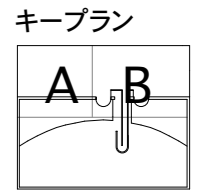


- 凡例
- 新規/特注
 - 輸入家具
 - 既存使用
 - 修繕・改造

改修
 詳細什器キープラン
 1F-D
 1/100(A3)

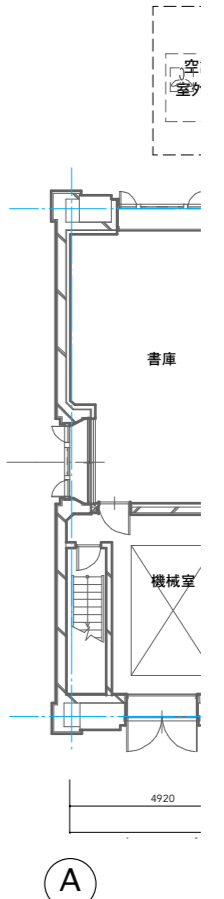


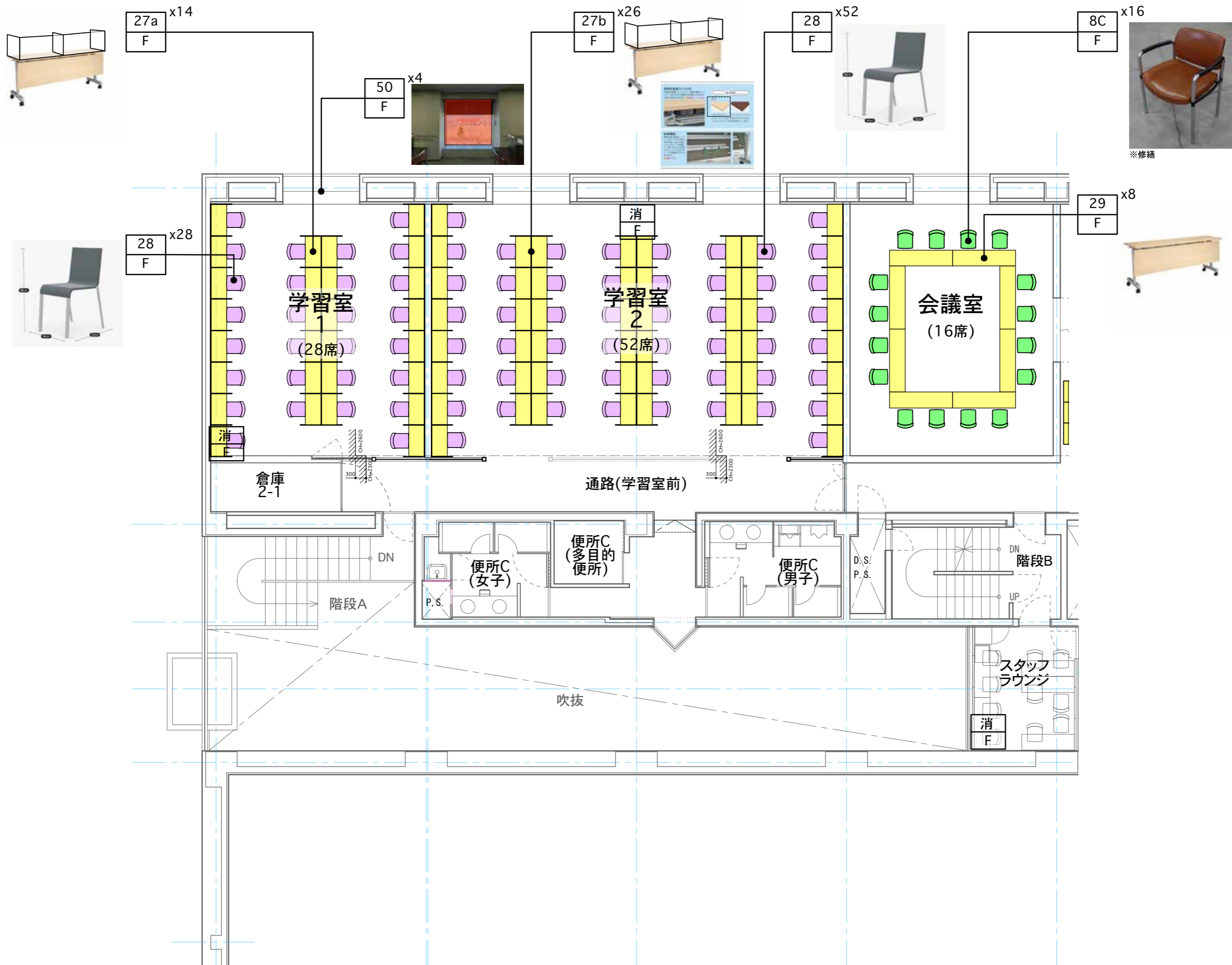
共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。



- 凡例
- : 新規/特注
 - : 輸入家具
 - : 既存使用
 - : 修繕・改造

改修
 什器キープラン
 2F
 1/200(A3)





共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

キープラン

凡例

- 新規/特注
- 輸入家具
- 既存使用
- 修繕・改造



34 x24
F

32 x3
F

33 x2
F

29 x21
F

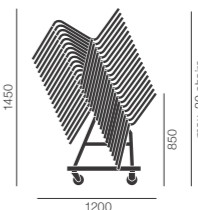
※アクリル間仕切はF4Baと同様

50 x5
F

30 x42
F

28P x2
F

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。



19 x3
F

freespace
(24席)

集会室
(42席)



※製作図参照

パソレット架

カフェカウンターは本体工事

カフェ

倉庫 2-3

厨房

消 F

パントリー

P.S.

倉庫 2-4

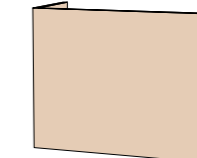
D.S.

P.S.

階段C DN

スロープ

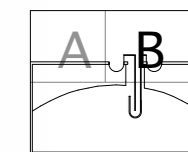
31 F



※製作図参照

34 x8
F

キープラン



凡例

- 新規/特注
- 輸入家具
- 既存使用
- 修繕・改造

左ホール

右ホール

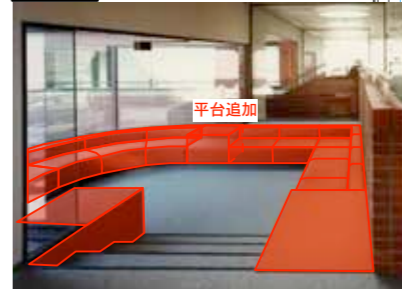
読書活動コーナー

読書活動コーナー
(8席)

吹抜

32 x2
F

52 x2
F



※製作図参照

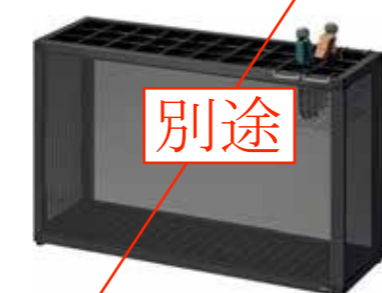
35 x8
F

改修
什器キープラン詳細
2F-B

1/100(A3)

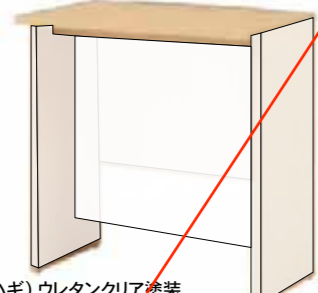
<p>1 F 傘立て(L)</p> <p>使用箇所 1F 風除室A 2台</p>  <p>※ 上段 鍵(ダイヤル錠)アリ、 下段 鍵ナシ</p> <p>特注製作 ※製作図参照 ヒガノ傘立て 鍵:ダイヤル式+シリンダーなしタイプ パネル:HL仕上 W1800×D600×H940mm</p>
--


<p>2 F 傘立て(S)</p> <p>使用箇所 1F エントランスホール 1台 サブエントランス 1台 風除室B 2台 計4台</p>  <p>※ 上段 鍵(ダイヤル錠)アリ、 下段 鍵ナシ</p> <p>特注製作 ※製作図参照 ヒガノ傘立て 鍵:ダイヤル式+シリンダーなしタイプ パネル:HL仕上 W800×D600×H940mm</p>

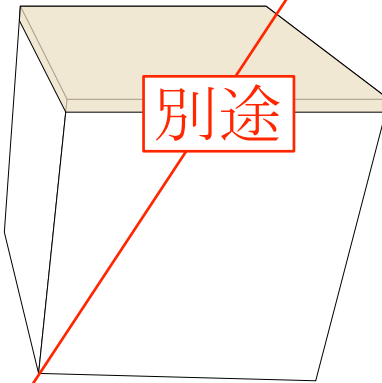
<p>3 F 傘立て(サービス)</p> <p>使用箇所 1F 車庫(職員入口) 1台</p>  <p>内田洋行 カサタテ/クローズW850 同等品以上 傘立て パネル:エルブラック W850×D290×H550mm</p>
--

<p>4A F 閲覧机(W1500)</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 11台</p>  <p>特注製作 ※製作図参照 天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 側板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定 間仕切:アクリル t8mm 寸法:W1500×D900×H1200mm</p>

<p>4Ba F 閲覧机(W1800,D900) 4Bb F 閲覧机(W1800,D1200)</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 7台 (4Ba5台、4Bb2台)</p>  <p>特注製作 ※製作図参照 天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 側板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定 間仕切:アクリル t8mm 寸法:W1800×[a:D900,b:1200]×H1200mm(TH720)</p>
--

<p>5A F 検索機台(立位)</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 2台 参考資料室 3台 計5台</p>  <p>特注製作 ※製作図参照 天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 背、側、前面板:メラミン化粧板[公開ホール_白]、[参考資料室_ナラ※] ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定、ナラの木目方向はF-24に倣う ※参考資料室は既存什器をよく調べ、合わせる 面付錠 W900×D600×H1000</p>
--

<p>6 F 自動貸出機台</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 2台</p>  <p><参考>玉川こども図書館 センサーパッド内包型</p>
--

<p>7 F 特集本コーナー台</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 3台</p> 
--

<p>8A F 閲覧椅子</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 20脚 予備 1脚 計21脚</p> 

<p>5B F 検索機台(座位)</p> <p>使用箇所 1F 公開ホール 2台</p>  <p>特注製作 ※製作図参照 天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 背、側、前面板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定 面付錠 W900×D600×H720</p>
--

<p>特注製作 ※製作図参照 天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 背、側、前面板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定 面付錠,強化ガラス W900×D600×H1000mm</p>

<p>特注製作 ※製作図参照 天板: ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装 側板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定 W1000×D1000×H720mm</p>
--

<p>Arflex SIGNALチェア Low(川上元美) W670×D670×H740×SH350mm 背・座  SINCOL ALL MIGHTY ※既存修繕 ・背及び背面ビニールレザー張替え ・背内部フレーム用金具の交換 ・スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ) ※塗装色はサンプルにて決定 ・スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換 ・スチール脚部ブラパートは同等品に置換</p>

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

8B
F 閲覧椅子

使用箇所
1F 公開ホール 30脚
※全数は30脚



背・座  SINCOL ALL MIGHTY
L-6554 (0663)

Arflex
SIGNALチェア High(川上元美)
寸法:W570×D570×H930×SH450mm
※既存修繕
・背及び座面ビニールレザー張替え
・背内部フレーム用金具の交換
・スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ)
※スチール塗装色はサンプルにて決定
・スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換
・スチール脚部ブラパートは同等品に置換

8C
F 閲覧椅子

使用箇所
1F 参考資料室 12脚
2F 会議室 16脚
計28脚



背・座  SINCOL ALL MIGHTY
L-6554 (0663)

HOUTOKU
kusch +co
寸法:W470×D490×H760×SH450mm
※既存修繕
・背及び座面ビニールレザー張替え
・スチール脚フレーム磨き

8D
F 閲覧椅子

使用箇所
1F ロビー 12脚

413 CAB



別途

カッシーナ(イタリア)
413 CAB 赤茶
W630×D520×H815×SH445mm

8F
F 閲覧椅子

使用箇所
1F 公開ホール 44脚



※座面はファブリック、背面は木、カラーはサンプルにて決定


背板  ホワイトオーク W0色
座面  テゾBR(エランク)

飛騨産業
SE070-EX アームチェア(川上元美)
ホワイトオーク/ファブリック※
W610×D560H765(SH420)

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

9
F 新聞架台

使用箇所
1F 公開ホール 1台



別途

特注製作 ※製作図参照
天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装
側板:メラミン化粧板(白)
※集成材、メラミン材はサンプルにて決定
寸法:W2400XD1400XH825

10
F 新聞バックナンバー架台

使用箇所
1F 公開ホール 3台



別途

特注製作 ※製作図参照
12紙格納
天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装
側板:メラミン化粧板(白)
※集成材、メラミン材はサンプルにて決定
寸法:W1350XD890XH1205

12
F 新聞ラック

使用箇所
1F 図書スペース 2台

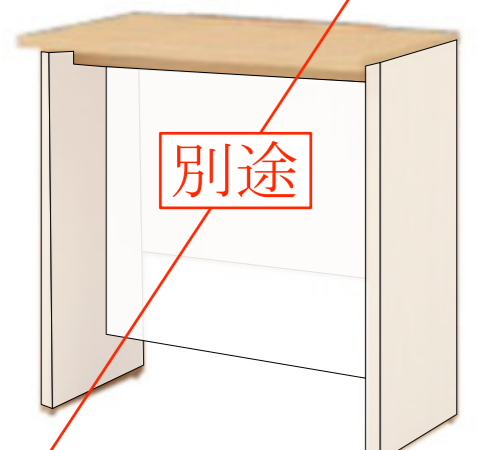


別途

特注製作 ※製作図参照
12紙格納
側板ほか:メラミン化粧板(白)
※メラミン材はサンプルにて決定
寸法:W900XD680XH700

22 F 記帳台

使用箇所
1F リスニングコーナー 1台

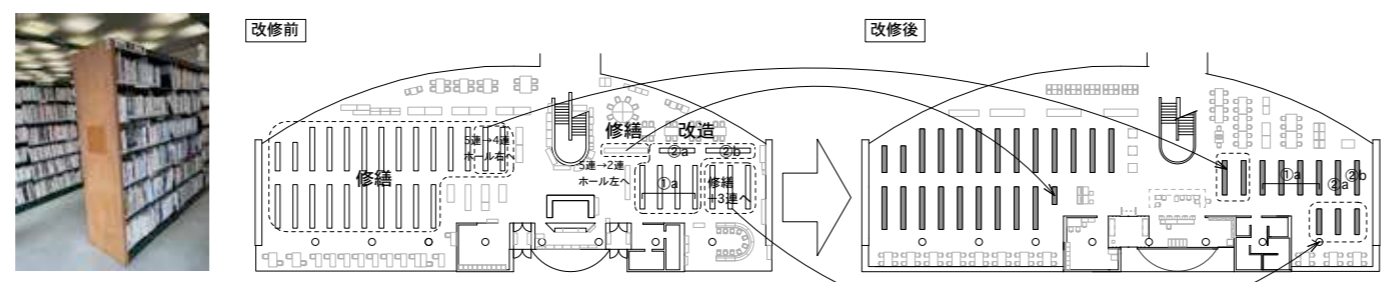


別途

特注製作 ※製作図参照
天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装
背、側、前面板:メラミン化粧板(白) ※集成材、メラミン材はサンプルにて決定
W700xD600xH720

23 F 木製書架 ※修繕 [F-23A] ※改造[F-23B]

使用箇所
1F 公開ホール



改修前 改修後

※現代建築レガシー継承事業の理念に則り、竣工時の環境復元を掲げていることから既存の書架を十分に調査し、新設部分と既存修繕部分をよくなじませ、新旧の仕器の差を無くすこととする。

【修繕】
木金混合書架:
・複式6段(可動)3連 W2795xD490xH1895 2台
・複式6段(可動)5連 W4590xD490xH1895 22台
※内2台は5連 → 4連へ調整後、ホール右へ
・複式6段(可動)5連 W4580xD480xH1920 3台
※5連 → 4連へ調整
・複式4段(可動)5連 W4580xD490xH1325 1台
※5連 → 2連へ調整
計 28台

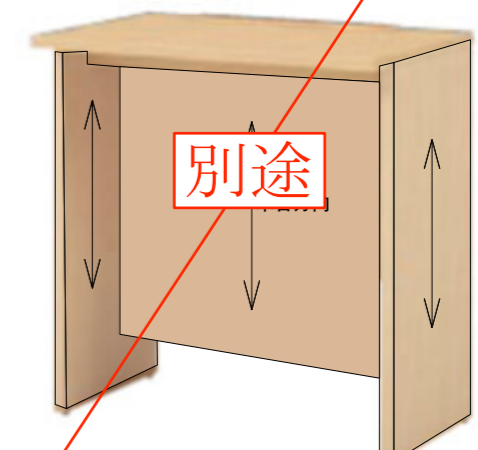
保管倉庫から資材搬出後、既存部材を使い、側板補修のサンプルを製作の上、決定。その後、工場にて加工
側板:補修_集成材表面キズ、日焼け跡補修、再塗装(無黄変タイプ) 56枚
※サンプルにて決定
新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定

【改造】
木金混合書架:
①a 複式3段(可動)5連 W4590xD490xH1325 4台 ⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895
②a 複式3段(可動)4連 W3685xD490xH1325 1台 ⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895
②b 複式3段(可動)5連 W4590xD490xH1325 1台 ⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895
計6台

保管倉庫から資材搬出後、既存部材に合わせサンプル製作の上、決定。その後、既存書架の部材を一部再利用しH1325からH1895へ改造後、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定
※既存書架・仕器とよくなじませること
新規製作部材
※書架側板はサンプルにて決定
支柱:26本
集成材側板:12枚

24 F インターネット検索台

使用箇所
1F 参考資料室 1台



別途

特注製作 ※製作図参照
天板:ホワイトオーク集成材(21mmハギ) ウレタンクリア塗装
背、側、前面板:メラミン化粧板(ナラ)
※集成材、メラミン材はサンプルにて決定
※既存の材料とよく合わせる
面付錠
W3200xD600xH720

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をおわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

26 F アルコール台 ペダル式

使用箇所
エントランスホール 1台
サブエントランス 1台
風除室A 1台
風除室B 2台
計 5台



別途

QUALIA FACTORY
SUBMARINE PEDAL 同等品以上
W250xD282xH806
カラー:サテンブラック
備考:足踏み式ペダル

27a F 学習室1机

使用箇所
2F 学習室1 14台
学習室2 26台
計40台

※学習室2 26台は電源対応

※間仕切り付き



別途


便利な電源ユニット付
防塵用の開閉シャッターカバー装備の電源ユニット付。天板下の手元で電源を抜き差しできるため、天板上を有効に使えます。電源ユニット付のみ

カラー
天板
ポチユルル®(P)
ウォールナット®(WN)
※ウォールナット色は、手摺などの汚れが目立ちにくいメラミン化粧板を使用しています。

【間仕切り】
ジョープリンス
パネル用クランプ(スイスベルタイプ) PT-180 同等品以上
【学習室1】
1800パネル 11枚、450パネル 32枚 クランプ 54個 +コーナー用器具
【学習室2】
1800パネル 17枚、450パネル 60枚 クランプ 94個 +コーナー用器具

28 F 学習室椅子

使用箇所
1F 参考資料室 7脚
2F 学習室1 28脚
学習室2 58脚
計 93脚

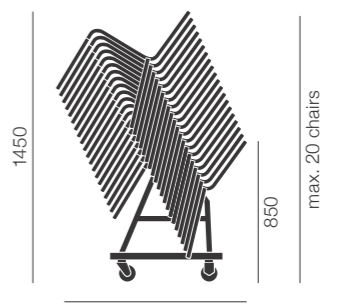


Vitra .03(ゼロスリー)
背座:dark grey、脚部:シルバー
W435xD525xH790 SH420

別途

28P F スタッキング用台車

使用箇所
2F 集会室 2台



Vitra .03(ゼロスリー)
スタッキングドローリー[積載数:20脚まで]
W1200xH850~1450

37 F 公開ホール椅子

使用箇所
1F 公開ホール 1脚(カンファレンス)
リスニングコーナー 3脚(記帳台、リスニング席x2)
計4脚



別途

飛騨産業
SEOTO-EX セミアームチェア(川上元美)
ホワイトオーク
W585xD550xH635(SH405)
※サンプル確認にて決定

ホワイトオーク W0色

38 F 参考資料室 木製棚 既存本棚は修繕・改造

使用箇所
1F 参考資料室 新設(メーサイズ棚内蔵) 1台
既存修繕 7台




【新規製作】※製作図参照
6段(可動)3連両面木製本棚(メーサイズ棚内蔵)
W2740xD470xH2070
新レイアウトに配置、床アンカー固定など転倒防止
※既存木製本棚となじませるため、使う材料はサンプルにて決定

【既存修繕】
W2740xD470xH2185 7台
高さを2185→2070へ改造(天板取り外し、側板、中間帆立をカット後天板再取付)
側板表面キズ、日焼け跡補修後再塗装(無黄変タイプ)、新設什器のサンプルとよくなじませ、ビス穴埋め木などタッチアップ
※サンプルにて決定
修繕後、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定など転倒防止

39 F 参考資料室 閲覧机

使用箇所
1F 参考資料室 既存修繕 3台



【既存修繕】
W1800xD1200xH695
保管倉庫から搬出後、工場にて加工
天板・側板:補修_集成材表面キズ、日焼け跡補修後再塗装(無黄変タイプ)新設什器のサンプルとよくなじませること
※サンプルにて決定
修繕後、新レイアウトに設置

40 F 授乳室 椅子

使用箇所
1F 授乳室 1脚



別途

コンゼウズ
NS-R1 同等品以上
W613xD555xH700(SH370)

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

消 F 消火器+消火器カバー

使用箇所
消火器 30台※ (1F_14台、2F_8台、B1F_8台)
消火器カバー 15台 (1F_9台、2F_6台)
※既存継続使用数量確認



別途

能美防災株式会社 ABC粉末消火器
MEDJ001-10
W約230 D約117.4 H約493

アイリス 消火器カバー
SSC-200A-W 同等品以上
W200xD200xH600

41 F 展示ケース

使用箇所
1F ロビー 4台

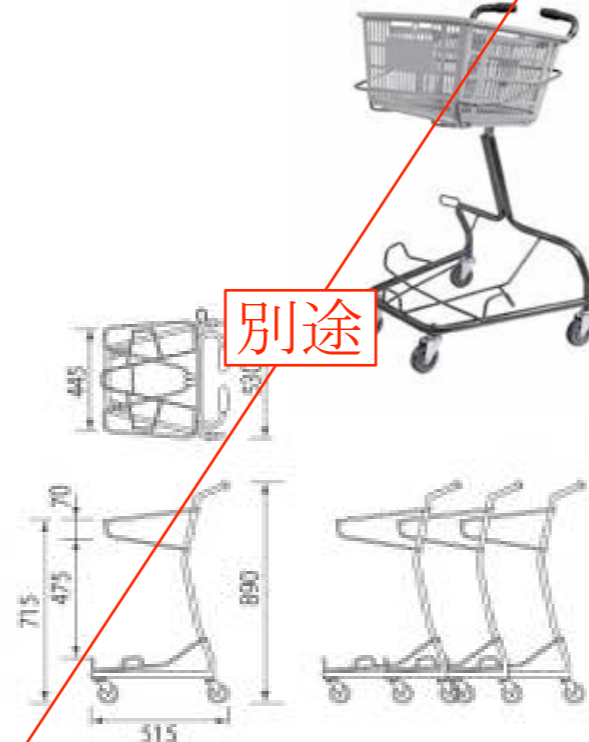


別途

TAKIYA
特注製作 ※製作図参照
カラー:黒ツヤ消し(特注色)
W1200xD600xH950
※脚部塗装色はサンプル確認にて決定

43 F ブックカート

使用箇所
1F リスニングコーナー 5台



別途

日本ブッカー 同等品以上
バスケットはライトグレー
W580xD515xH890

大型 F 大型ブックエンド

使用箇所
1F 図書スペース(雑誌架用) 216個

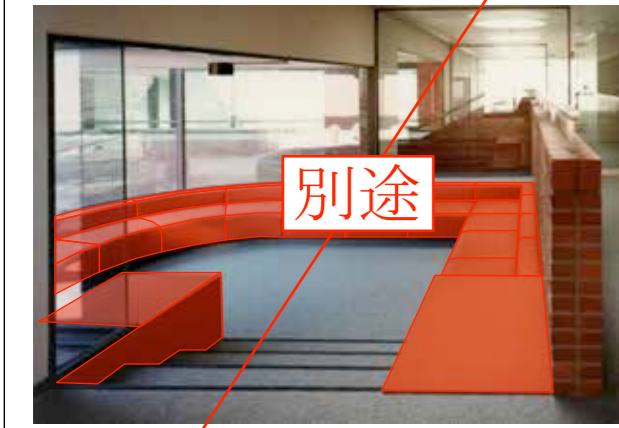


別途

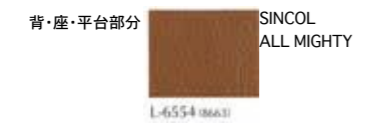
特注製作 ※製作図参照
W230xD218xH280

<p>52 F 読書活動コーナー ソファ</p>	<p>54 F 雑誌用書架</p>	<p>55 F 雑誌(寄贈)用書架</p>	
----------------------------------	---------------------------	-------------------------------	--

使用箇所
2F 読書活動コーナー 2箇所



別途



特注製作 ※製作図参照
※サンプル確認にて決定

使用箇所
1F 公開ホール 3箇所



【既存修繕】木製雑誌架 複式6列3段2連
W1800×D800×H1180
保管倉庫から搬出後、
キズ補修・タッチアップ・塗装(無黄変タイプ)
新レイアウトに設置、床アンカー固定
※既存書架、既存改造書架とよくなじませること

使用箇所
1F 公開ホール 3箇所



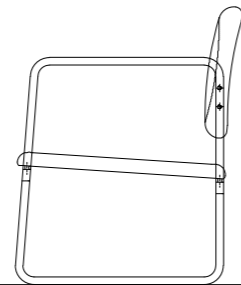
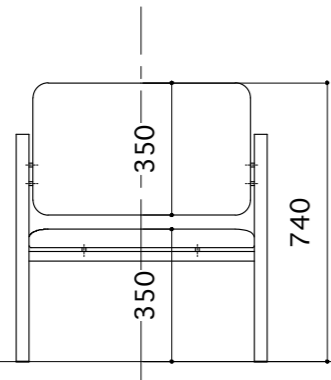
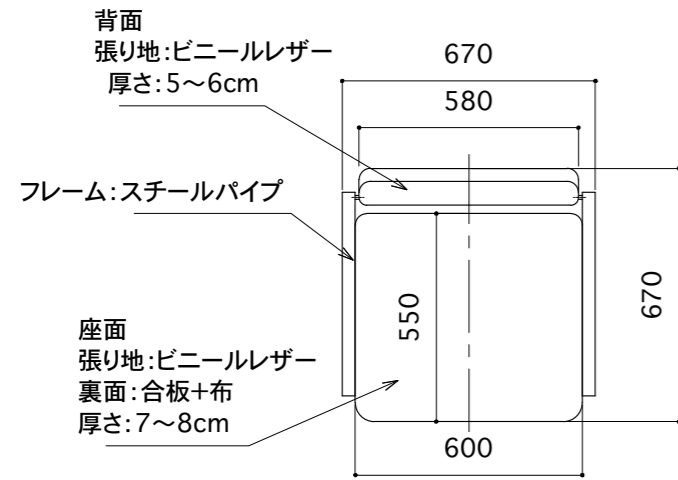
【既存修繕】木木金剛雑誌架 複式4段1連 3台
W1060×D700×H1200
保管倉庫から搬出、
キズ補修・タッチアップ・塗装(無黄変タイプ)
新レイアウトに設置、床アンカー固定
※既存書架、既存改造書架とよくなじませること

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

番号	名称	数量	特記事項
F-8A	SIGNALチェア Low(W670xD670xH740[xSH350])	21	背・座:ビニールレザー SINCOL ALLMIGHTY L-6554(8663)
F-8B	SIGNALチェア High(W570xD570xH930[xSH450])	30	

共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

A-既存椅子 Lowタイプ



x21台

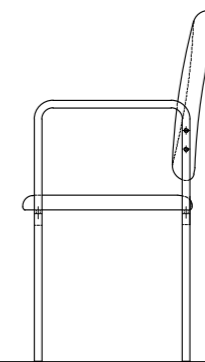
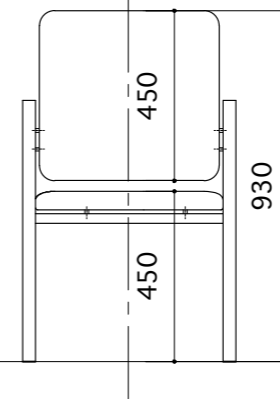
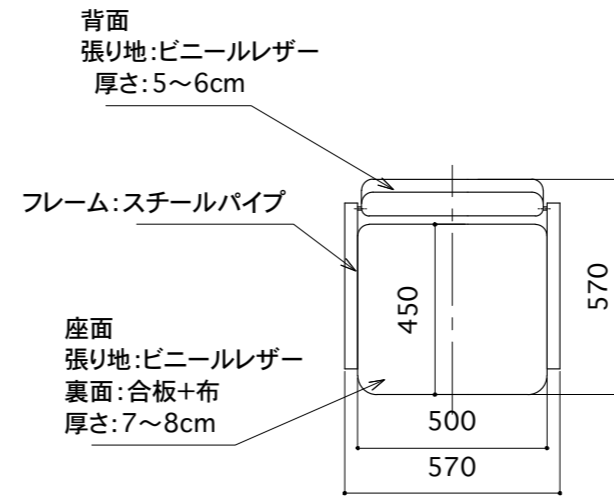
- ・背及び座面ビニールレザー張替え
 - ・背内部フレーム用金具の交換
 - ・スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ)
 - ・スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換
 - ・スチール脚部プラパートは同等品に置換
- ※塗装色はサンプルにて決定

背・座



L-6554 (8663)
 SINCOL
 ALL MIGHTY

B-既存椅子 Highタイプ



x30台

- ・背及び座面ビニールレザー張替え
 - ・背内部フレーム用金具の交換
 - ・スチール脚フレーム再塗装(白※既存合わせ)
 - ・スチール脚フレームと背・座面のジョイントスペーサーの交換
 - ・スチール脚部プラパートは同等品に置換
- ※塗装色はサンプルにて決定

背・座



L-6554 (8663)
 SINCOL
 ALL MIGHTY

番号	名称	数量	特記事項
F-8C	HOUTOKU kusch +co(W470xD490xH760[xSH450])	28	

F8C 閲覧椅子B

参考資料室
 会議室 **計28脚**

既存 Kusch+Coブランド品修繕

〈修繕内容〉

背・座面ビニールレザー張替え
 スチール脚フレーム磨き

背・座



L-6554 (8663)
 SINCOL
 ALL MIGHTY



x28脚

W470×D490×H760 (SH450)

共通事項:
 金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

番号	名称	数量	特記事項
F-23A	木製書架 修繕	28	
F-23B	木製書架 改造	6	

既存書架 修繕・改造仕様

■修繕内容

【既存書架修繕作業】

- ・保管倉庫から資材搬出後、既存部材を使い、側板補修のサンプルを製作の上、決定。その後、工場にて加工。側板：補修_集成材表面キズ、日焼け後補修)再塗装(無黄変タイプ) 56枚
- ※サンプルにて決定
- ・新レイアウトに再組立し配置
- 床アンカー固定 述べ128連

【既存書架改造作業】

- ・保管倉庫から資材搬出後、既存部材に合わせサンプル製作の上、決定。その後、既存書架の部材を一部再利用しH1325からH1895へ改造後、新レイアウトに再組立して配置、床アンカー固定 述べ24連
- ※既存書架・什器とよくなじませること
- ※書架新規製作側板はサンプルにて決定
- ・新規製作部材
 - ①支柱(H1895) 26本
 - ②集成材側板(H1895) 12枚

●修繕棚内訳

- 木金混合書架：
- ・複式6段(可動)3連 W2795xD490xH1895 2台
 - ・複式6段(可動)5連 W4590xD490xH1895 22台
 - ※内2台は5連 → 4連へ調整後、ホール右へ
 - ・複式6段(可動)5連 W4580xD490xH1920 3台
 - ※5連 → 4連へ調整
 - ・複式4段(可動)5連 W4580xD490xH1325 1台
 - ※5連 → 2連へ調整

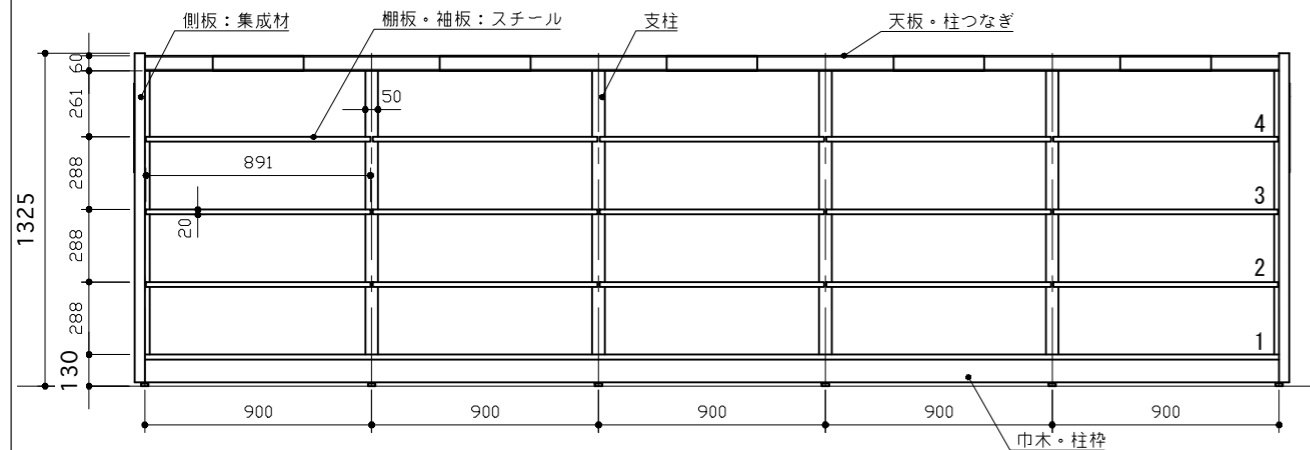
計28台

●改造棚内訳

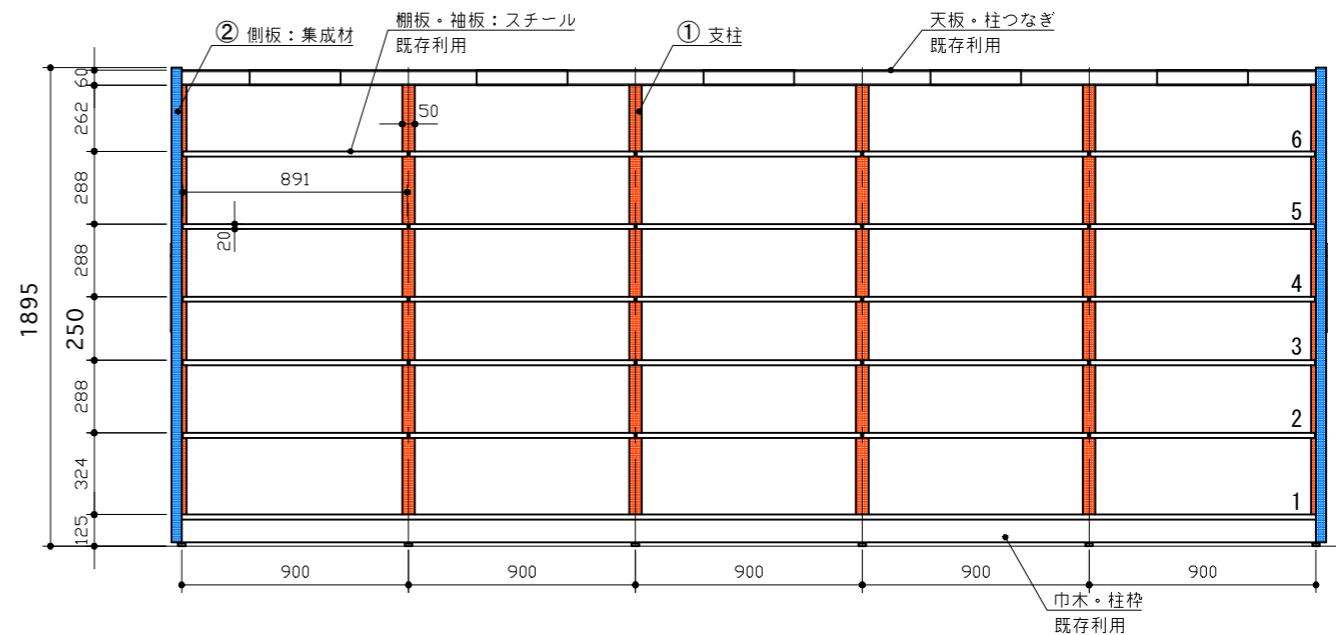
- 木金混合書架：
- ①a 複式3段(可動)5連 W4590xD490xH1325 4台⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895
 - ②a 複式3段(可動)4連 W3685xD490xH1325 1台⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895
 - ②b 複式3段(可動)5連 W4590xD490xH1325 1台⇒ 複式6段(可動)4連 W3685xD490xH1895

計6台

既存複式4段書架 姿図



既存改造複式6段書架 姿図 ※参考図

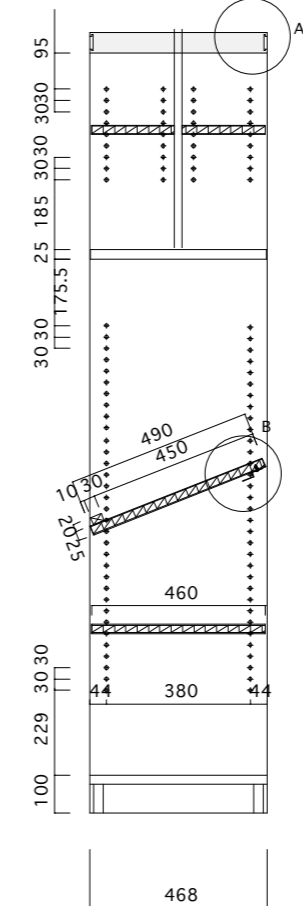
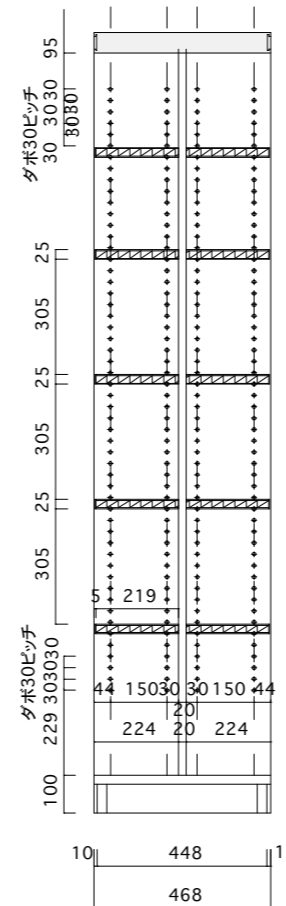
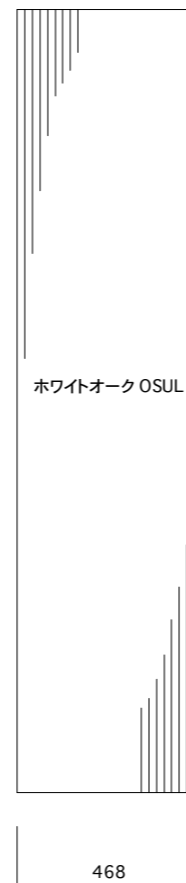
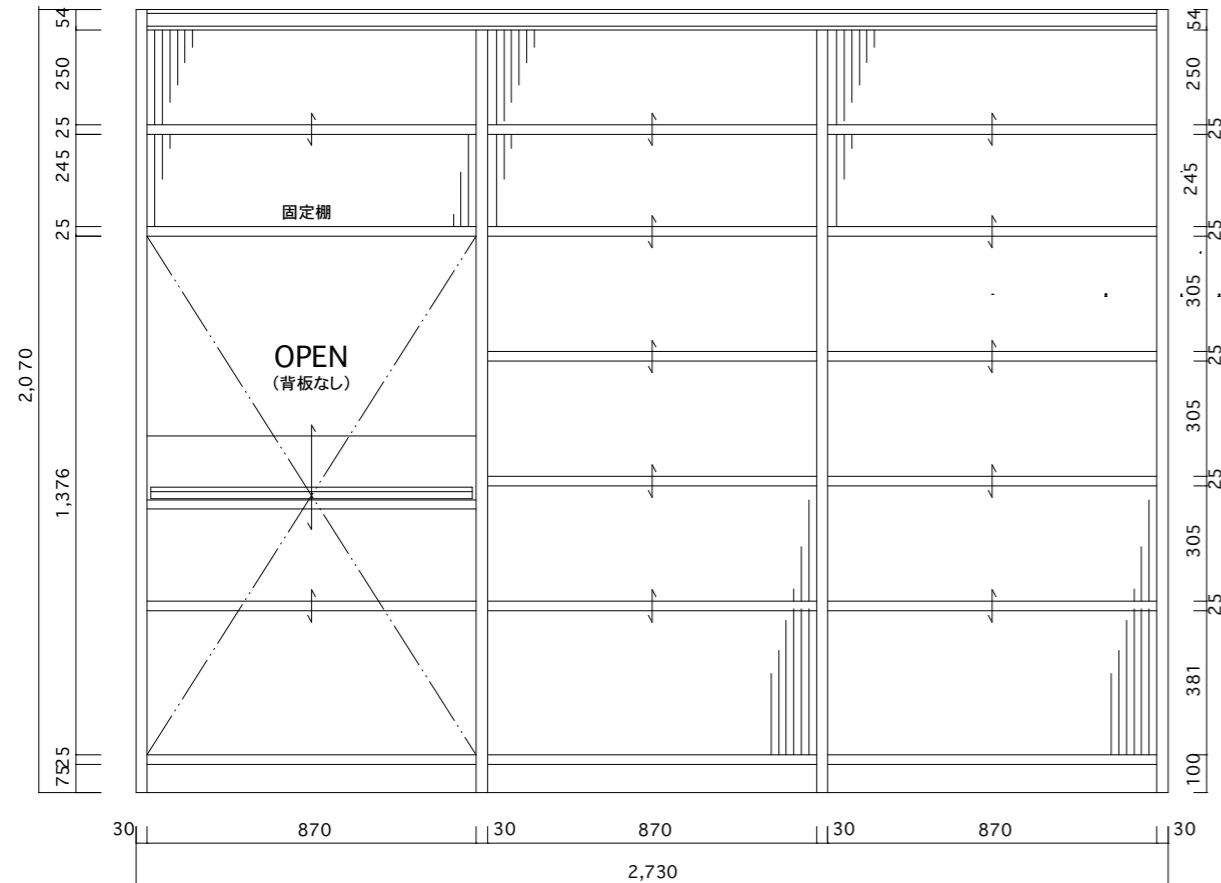
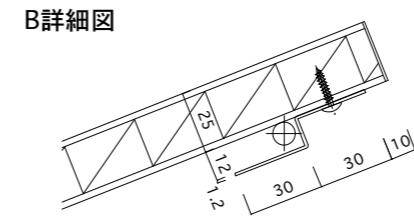
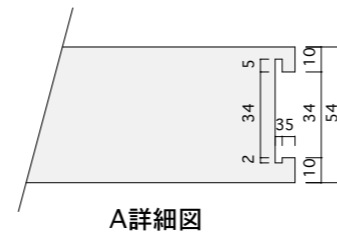


共通事項：
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

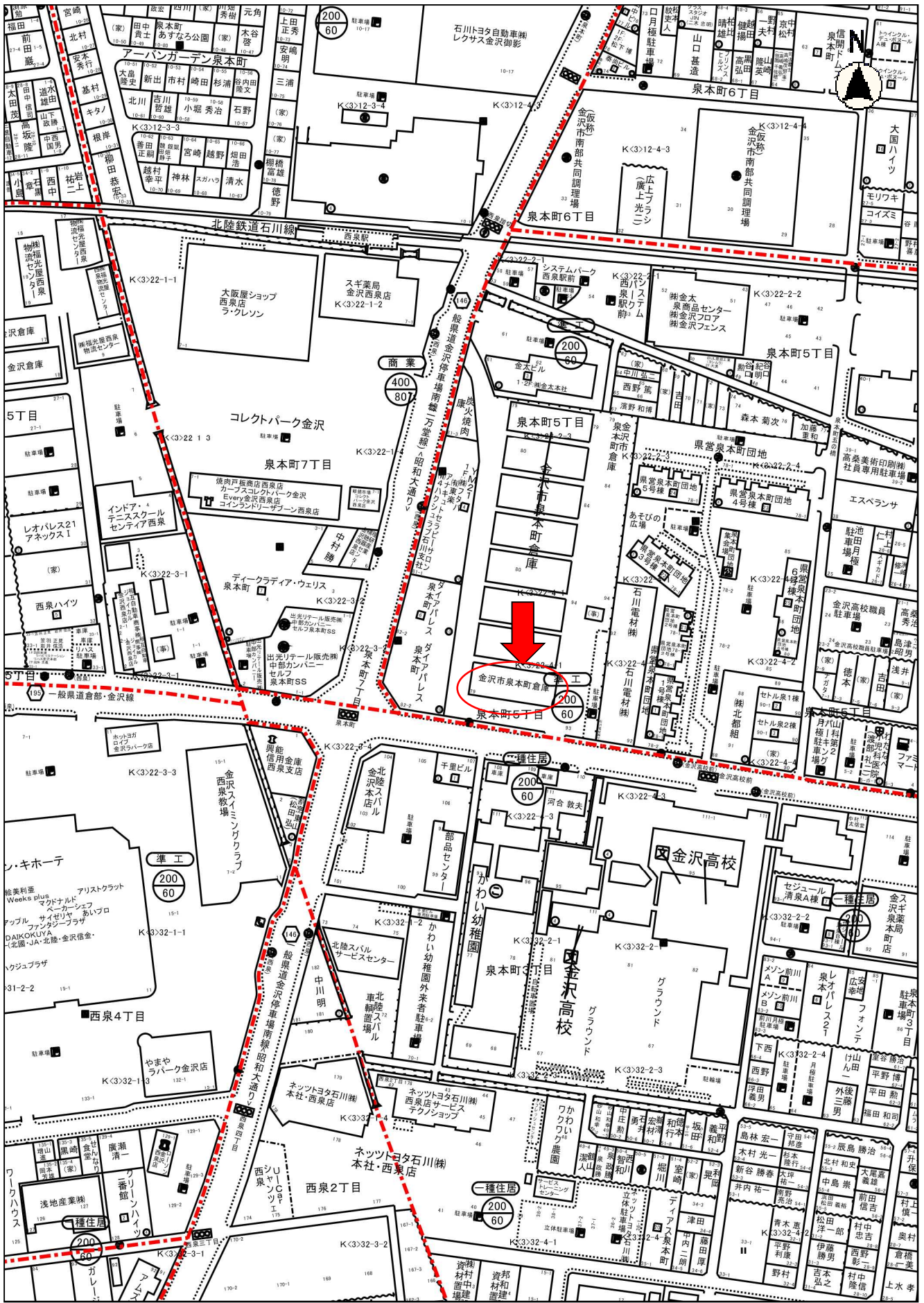
詳細図
既存書架修繕・改造

番号	名称	数量	特記事項
F-38	参考資料室 木製棚 (メーサイズ棚内蔵)	1	ホワイトオーク 染色ウレタンクリア仕上げ 1台 ※既存木製本棚となじませるため、材料はサンプルにて決定

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。



x1台



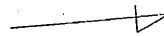
縮尺 1 : 2500
 0 10 20 30 40 50 60

泉本町倉庫位置図

至 西金沢

金沢政府倉庫配置図

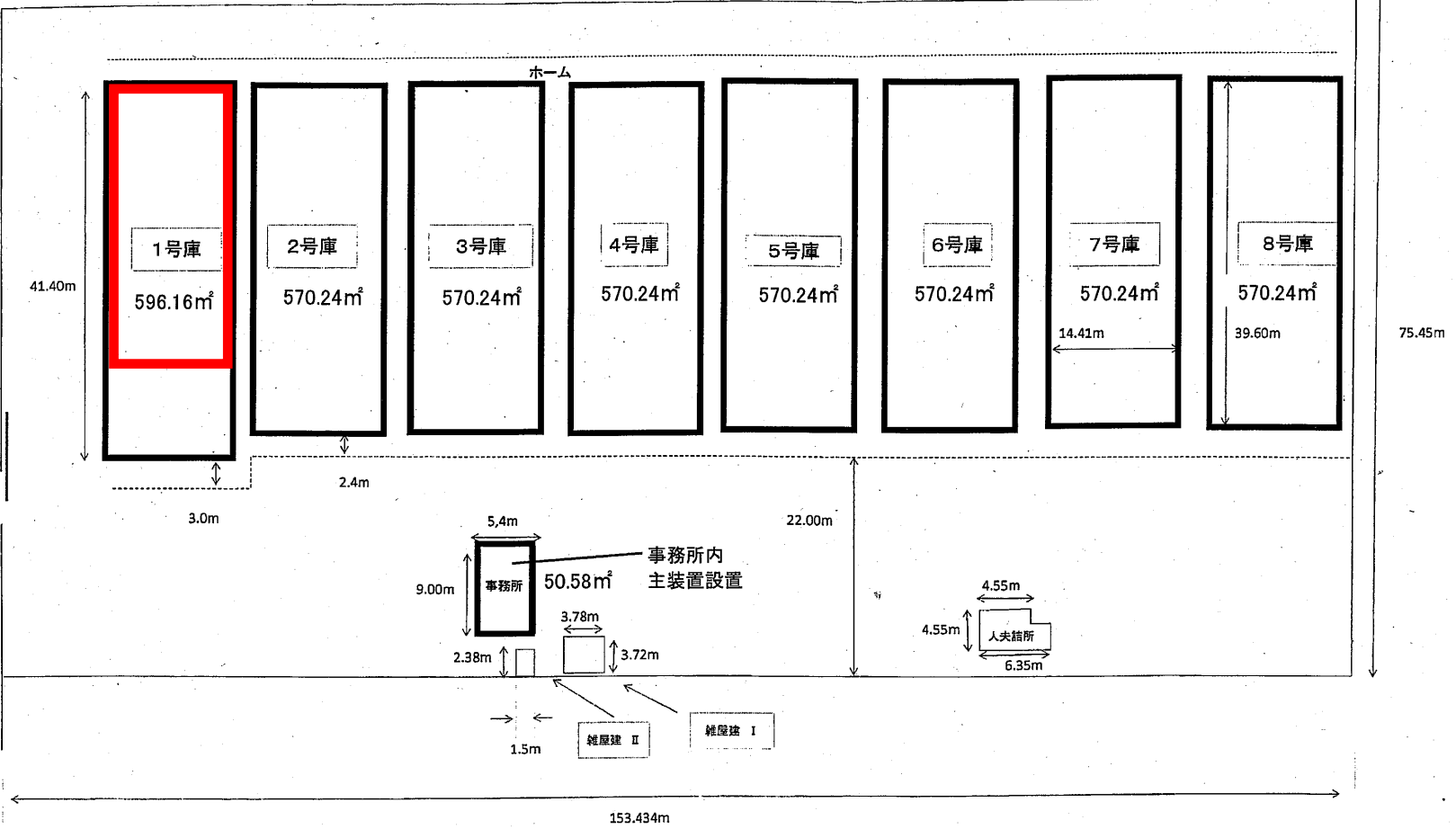
金沢市泉本町5丁目79



かわい幼稚園

道路

金沢高校



...倉庫計 4,587.84m²

特記仕様書	
業務名	金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務
1.業務概要	1. 場所 石川県金沢市玉川町2番20号 2. 種目 改修
2.仕様書の適用	1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）」（以下「改修仕様」という。）による。 2. 設計図書の優先順位 <p>1）質問回答書（2）〜5）に対するもの 2）現場説明書 3）特記仕様書（1.1.1） 4）図面 5）共通仕様書</p> 3. 1章以後は項目の番号に○印のついたものを適用する。 4. 特記事項は・に○印のついたものを適用する。 5. 特記事項に記載の（ ）内の番号は、「標準仕様書」の当該項目、又は当該表を示す。 6. 製造所名は五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。
3.特記仕様	
項目	特記事項

1.一般共通事項	
1-1	一般事項

①.用語の定義	1) 監督職員とは金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務委託の監督職員又は監督員をいう。(1.1.2) 監督職員は、本特記仕様書記載事項に基づき現場代理人に対して承諾、指示、協議、検査等を行う。 2) 請負者とは当該業務委託契約の受託者又は契約者の規定により定められた現場代理人をいう。(1.1.3)
②.官公署その他への届出手続き	1) 業務の着手、施工、完成に当たり関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を延滞なく行う。(1.1.3) 2) 届出手続きを行うに当たっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
③.別契約の関連制作業務	1) 別契約の関連施工業務については、監督職員の調整に協力し、当該施工業務関係者とともに施工業務全体の円滑な施工に努める。(1.1.7)
④.疑義に対する協議	1) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合は監督職員と協議する。(1.1.8) 2) 現場での納まり、取合い、技術上等の関係で、設計図書によることが困難又は、不都合が生じた場合は監督職員と協議する。
⑤.関係法令等の遵守	1) 施工業務に当り、適用を受ける関係法令等を遵守し、施工業務の円滑な進捗を図る。(1.1.14)
⑥.特別な材料の工法	1) 特別な材料、機器の工法は、当該製品、機器の指定工法による。
7.支給品	1) 設計図書に図示されたもの以外の実物、模型、複製品等の展示資料は支給品とする。支給場所は本館内とする。
8.展示資料の取付け	1) 支給展示資料は、原則として監督職員によって所定の場所に展示される。
⑨.見本の提出	1) 造作に使用する材料は見本を作成し、監督職員の承認を得る事。 2) 監督職員が承諾した材料は、証明書となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に提示すること。

1-2	施工業務関係図書
①.実施工程表	1) 業務の着手に先立ち実施工程表を作成し、監督職員の承諾を得る。また補足として必要に応じ、月間工程表、週間工程表及び工種別工程表を提出し、監督職員の承諾を得る。(1.2.1)
②.施工計画書	1) 施工の具体的な計画を定めた施工計画書を、当該業務の着手に先立ち監督職員に提出し、承諾を得る。(1.2.2)
③.施工図等	1) 請負者には必要に応じ関連する制作、工種相互の取合いを検討し、各部位別工種別施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。(1.2.3)
④.総合図の作成	1) 総合図は請負者が発注者の直接発注制作を含めた制作の全体概要と相互関係を把握し、施工図の適正化と効率化のために活用することを目的とする。施工図に先行して作成する。

1-3	施工業務現場管理
①.現場代理人	1) 現場代理人は、展示の各制作業務について高度の知識、経験を有する者とし、あらかじめ履歴書、経歴書を監督職員に提出する。
②.施工管理	1) 設計図書に適合する制作目的物を完成させる為、施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。(1.3.1)
③.施工管理技術者	1) 施工管理技術者は、展示の各制作について、高度の知識、経験を有する者とし、あらかじめ履歴書、経歴書を監督職員に提出する。(1.3.2)
④.品質管理	1) 施工計画書による品質計画に基づき、適切な時期に指導、確認、試験等、必要な管理を行う。(1.3.6)
⑤.施工現場の安全確保・環境保全	1) 施工現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり関係法令等に従ってこれを行う。(1.3.7)
⑥.発生材の処理	1) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し関係法令等に従い適切に処理する。(1.3.8)
⑦.養生	1) 在来部分、施工済み部分、未使用部分などで、汚染又は損害の恐れのあるものは適切な方法で養生を行う。(1.3.10)
⑧.後片付け	1) 施工業務の完成に際しては、当該施工業務範囲周辺の後片付け及び清掃を行う。(1.3.11)

1-4	材料
①.材料の品質	1) グリーン商品を積極的に利用するよう努め、使用するグリーン商品の品目は監督職員と協議する。 2) ホルムアルデヒド発散建築材料(告知規制対象建材)を使用する場合、F☆☆☆☆の区分のものとし、トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼンの放散量の極力小さいものとする。 3) 施工業務に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、またはこれと同等の品質及び性能を有する新品とする。同等のものを使用する場合は、監督職員の承諾を得る。(1.4.2) 4) 使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有する事の証明となる資料を監督職員に提出する。 5) 設計図書に定められた材料の見本を提出又は提示し、材質、仕上げの程度、色合い等について、あらかじめ監督職員の承諾を得る。 6) 設計図書に定められた規格等が改正された場合は、監督職員と協議する。
②.材料の検査	1) 材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。ただしあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。(1.4.4) 2) 検査の結果合格した材料と同じ種類の材料は、監督職員が特に指示する材料を除き以後の使用を承諾されたものとする。
1-5	施工
①.施工	1) 施工は、設計図書及び工程表、施工計画書、施工図、原寸図等に従って行う。(1.5.1)
②.施工の検査	1) 監督職員の指定した工程に達した場合は、監督職員の検査を受ける。但し、これによることができない場合は別に監督職員の指示を受ける。(1.5.5)

③.施工の立会い	2) 合格した工程と同じ工法により施工した部分については以後の監督職員の検査は抽出検査とする。但し、監督職員が特に指示ものはこの限りではない。
④.健康障害への対策	1) 監督職員の立会いが必要な施工及び監督職員が特に指示する場合は、監督職員の立会いを受ける。この際、適切な時期に監督員に対して立会いの請求を行うものとし、立会いの日時について監督職員の指示を受け。(1.5.7)
	1) 工法 工事に使用する下地及び仕上げ材は、製造工程及び施工工程において品質、性能上等で支障なき場合、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物（VOC）を放散しないもの又は極力低濃度の材料及び工法とする。接着剤の使用に際しては、製品の使用規定に基づき充分な乾燥期間を確保できる工程管理を実施する。 2) 壁紙、ビニル床シート、ビニル床タイル及びそれらの張り付けに使用する接着剤等の製品中の可塑剤は、分子量300g/mol以上の難揮発性可塑剤とする。 3) 使用する建材が含有する成分量の確認のため、施工に先立ちメーカーの規格証明書、試験結果書、MSDS（製品安全データシート）を監督職員に提出する。 4) 施工中の室内換気内装仕上げを行った室内は、常に換気に注意する。

1-6	記録・提出書類等
①.記録	1) 監督職員の指示した事項及び監督員と協議した結果について記録を整備する。(1.2.4) 2) 業務の全般的な経過を記載した文書を作成する。 3) 施工の適切な事を証明する必要があるとして、監督職員の指示を受けた場合、業務写真、見本、試験成績表などの必要な資料を整備する。 4) 1)から3)の記録について、監督職員より請求されたときは、提出又は提示する。
②.提出書類等	1) 提出書類は下表の番号に○印のついたものを基本とする。別途協議による。提出部数は、別途協議による。

番号	提出書類	部数	提出時期	備考
①	契約書	部	着手時	
②	現場代理人 施工管理技術者	部	着手時	経歴、資格を記す
③	契約工事代金内訳書	部	着手時	
④	実施工程表	部	着手時	次項目を含む 1、主要施工図の提出と承認、決定期間 2、主要見本の提出と承認、決定期間 3、主要資材の工事工程
⑤	月間工程表	部	その都度	
⑥	週間工程表	部	その都度	
⑦	工種別工程表	部	その都度	
⑧	施工計画書	部	その都度	次項目を含む 1、仮設計書 2、施工計画
⑨	施工図等	部	実施 日前	実施 日前までに監督職員の承諾を受ける。
⑩	使用材料、機器等承諾書	部	その都度	
⑪	製造所発行の規格証明書 試験成績書	部	その都度	
⑫	監督職員検査立会い事項一覧	部	着手時	
⑬	官公署出願書類控	部	その都度	正、副
⑭	打合せ記録書	部	監督職員請求時又は 定期は、1日以内 個別打合せは、日以内	
⑮	施工記録書	部	監督職員請求時	業務進行状況、労働者就業状況、搬入資材種類、数量使用材料種類等を記入
⑯	各種測定表、試験成績表	部	その都度	
⑰	各種検査結果報告書	部	その都度	・自主検査 ・監督職員検査
⑱	完成検査額	部	完成検査 日前	
⑲	完成引渡し書類	部	完成引渡し時	機器操作説明書は展示機器の使用法についてわかりやすくまとめる 保守管理マニュアルは展示機器の保全についてわかりやすくまとめる
⑳	完成引渡し備品及び記録 一覧リスト 予備品 予備品内訳書	式	完成引渡し時	予備品の内容は監督職員との協議による
㉑	業務写真	部	その都度	一定の台紙に貼付し、撮影月日を明記すること
㉒	完成図	部	完成引渡し後 日以内	完成図は監督職員の指示する図面
㉓	完成写真	部	完成引渡し後 日以内	カラーキャビネを原則とし撮影カット数、提出形態は監督職員との協議による
㉔	その他監督職員の指示する書類			

2.仮設業務	
①.監督員事務所	・ 設ける ○ 設けない (2.3.1)
②.業務用水	1) 請負者が施工業務に使用した分は使用量を負担する。(但し、施設管理者との事前協議による。)
③.業務用電力	① 請負者が施工業務に使用した分は使用量を負担する。(但し、施設管理者との事前協議による。) 2) 夜間（使用時間17時～22時の4時間）に使用した分は使用量を負担する。(但し、施設管理者との事前協議による。) 3) 請負者はメーター付仮設分電盤を設置し施工業務用電力とすることを基本とする。(但し、施設管理者との事前協議による。)
④.現場事務所	1) 設置場所については監督職員の指示による。(但し、施設管理者との事前協議による。)

3.木工施工業務																																											
①.木材	1) 製材、丸太はJASの規格品とする。(12.2.1) 2) 製材の等級は、構造材及び下地材は2級とし造作材はA種とする。(表12.2.2) 3) 樹種は設計図によるが、特に禁止されない限り代用樹種を使用することができる。(表12.2.3) 4) 含水率は、構造材及び下地材は18%以下、造作仕上げ材は15%以下とする。 1) 合板はJASの規格品とする。 2) 合板の接着の程度及び表面の品質 (19.7.2)																																										
②.合板	<table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>接着の程度</th><th>表面の品質</th></tr> <tr> <td>普通合板</td><td>1.2類</td><td>1等</td></tr> <tr> <td>難燃合板</td><td>1.2類</td><td>—</td></tr> <tr> <td rowspan="2">特殊合板</td><td>天然木化樹脂合板</td><td>1.2類</td><td>—</td></tr> <tr> <td>特殊加工化粧板</td><td>2類</td><td>—</td></tr> </tbody></table> <p>3) 合板のホルムアルデヒドの放散量の区分はF☆☆☆☆とする。 4) 合板の仕上げの種類及び樹種</p> <table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>樹種</th></tr> <tr> <td>不透明塗装仕上げの下地</td><td>しな</td></tr> <tr> <td>グラフィックパネル下地</td><td>しな</td></tr> <tr> <td>壁紙張り下地</td><td>ラワン</td></tr> <tr> <td>壁紙張り下地（薄手の壁紙張り用）</td><td>しな</td></tr> <tr> <td>塩ビシート貼り下地</td><td>しな</td></tr> <tr> <td>什器用ビニル床タイル、シート等の下地</td><td>ラワン</td></tr> <tr> <td>什器用特殊合板張り下地</td><td>ラワン</td></tr> </tbody></table> <p>・特殊合板</p> <table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>樹種</th></tr> <tr> <td>天然木化樹脂合板</td><td>天然木単板</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody></table>	種類	接着の程度	表面の品質	普通合板	1.2類	1等	難燃合板	1.2類	—	特殊合板	天然木化樹脂合板	1.2類	—	特殊加工化粧板	2類	—	種類	樹種	不透明塗装仕上げの下地	しな	グラフィックパネル下地	しな	壁紙張り下地	ラワン	壁紙張り下地（薄手の壁紙張り用）	しな	塩ビシート貼り下地	しな	什器用ビニル床タイル、シート等の下地	ラワン	什器用特殊合板張り下地	ラワン	種類	樹種	天然木化樹脂合板	天然木単板						
種類	接着の程度	表面の品質																																									
普通合板	1.2類	1等																																									
難燃合板	1.2類	—																																									
特殊合板	天然木化樹脂合板	1.2類	—																																								
	特殊加工化粧板	2類	—																																								
種類	樹種																																										
不透明塗装仕上げの下地	しな																																										
グラフィックパネル下地	しな																																										
壁紙張り下地	ラワン																																										
壁紙張り下地（薄手の壁紙張り用）	しな																																										
塩ビシート貼り下地	しな																																										
什器用ビニル床タイル、シート等の下地	ラワン																																										
什器用特殊合板張り下地	ラワン																																										
種類	樹種																																										
天然木化樹脂合板	天然木単板																																										
③.集成材	1) 集成材はJASの規格品とする。(12.2.2) 2) 等級は1等、ホルムアルデヒドの放散量の区分はF☆☆☆☆とする。 3) 集成材の種類																																										
	<table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>樹種名</th><th>厚さ</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>造作用集成材</td><td>ホワイトオーク</td><td>40mm(21mmハギ)</td><td>造作什器天板</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>mm</td><td></td></tr> </tbody></table>	種類	樹種名	厚さ	施工箇所	造作用集成材	ホワイトオーク	40mm(21mmハギ)	造作什器天板			mm																															
種類	樹種名	厚さ	施工箇所																																								
造作用集成材	ホワイトオーク	40mm(21mmハギ)	造作什器天板																																								
		mm																																									
④.フローリング	1) フローリングはJASの規格品とする。(19.5.2) 2) 複合フローリングのホルムアルデヒドの放散量区分はF☆☆☆☆とする。 3) フローリングの種別																																										
	・ 単層フローリング ・ 複合フローリング 製造所： 製品上代 円/㎡																																										
④.工法	・ 乾式工法（・釘止め・接着） ・ 湿式工法 (19.5.5) (19.5.6)																																										
⑤.中質繊維板	1) 中質繊維板（MDF）パーティクルボードはJISの規格品とする。(19.7.2) 2) ホルムアルデヒドの放散量の区分はF☆☆☆☆とする。																																										

4.金属施工業務											
1.材料	1) 材料はJISの規格品とする。 2) 鋼板はJIS G 3 3 1 3（電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）とする。 3) ステンレスはJIS G 3 0 5（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）のSUS 3 0 4とする。										
2.鉄鋼の亜鉛めっき	1) 鉄鋼の亜鉛めっきの種別は外部はC種、内部はE種とする。(表14.2.2)										
3.ステンレスの表面処理	1) 表面仕上げの種類、施工箇所 (14.2.1)										
	<table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ H L</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 鏡面</td><td></td></tr> <tr> <td>・ バイブレーション（無方向のHL）</td><td></td></tr> <tr> <td>・ ビーズブラスト/建築工事同質仕上げ</td><td>図示</td></tr> </tbody></table>	種類	施工箇所	・ H L		・ 鏡面		・ バイブレーション（無方向のHL）		・ ビーズブラスト/建築工事同質仕上げ	図示
種類	施工箇所										
・ H L											
・ 鏡面											
・ バイブレーション（無方向のHL）											
・ ビーズブラスト/建築工事同質仕上げ	図示										
4.アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	1) 表面処理の種類、施工箇所 (14.2.2) (表14.2.1)										
	<table> <tbody><tr> <th>種類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ C-1種（無着色陽極酸化皮膜）</td><td></td></tr> <tr> <td>・ C-2種（着色陽極酸化皮膜）</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 有機着色陽極酸化皮膜</td><td></td></tr> </tbody></table>	種類	施工箇所	・ C-1種（無着色陽極酸化皮膜）		・ C-2種（着色陽極酸化皮膜）		・ 有機着色陽極酸化皮膜			
種類	施工箇所										
・ C-1種（無着色陽極酸化皮膜）											
・ C-2種（着色陽極酸化皮膜）											
・ 有機着色陽極酸化皮膜											

⑤.異種金属の接触腐食の防止	1) 接触腐食防止処理は下表による。										
	<table> <tbody><tr> <th>接触材料</th><th>それぞれの側の接触腐食防止処理</th></tr> <tr> <td>アルミニウム 鋼鉄</td><td>アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（20μm以上） ・塗布材による保護（合成樹脂/クレンシンの付与） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛めっき付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20μm以上） ・表面処理亜鉛めっき鋼板 片面90g/m²以上 ・亜鉛めっき塗料塗布（30μm以上） </td></tr> <tr> <td>アルミニウム アルカリ性材料</td><td>アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） </td></tr> <tr> <td>アルミニウム ステンレス</td><td>アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） ステンレス側 <ul style="list-style-type: none">・無処理 </td></tr> <tr> <td>銅 鋼鉄</td><td>銅 側 <ul style="list-style-type: none">・クローヤー塗装（20μm以上） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛の付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20g/m²以上） </td></tr> </tbody></table> <p>留付け用かじ等の材質はステンレスとする。</p>	接触材料	それぞれの側の接触腐食防止処理	アルミニウム 鋼鉄	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（20μm以上） ・塗布材による保護（合成樹脂/クレンシンの付与） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛めっき付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20μm以上） ・表面処理亜鉛めっき鋼板 片面90g/m²以上 ・亜鉛めっき塗料塗布（30μm以上） 	アルミニウム アルカリ性材料	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） 	アルミニウム ステンレス	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） ステンレス側 <ul style="list-style-type: none">・無処理 	銅 鋼鉄	銅 側 <ul style="list-style-type: none">・クローヤー塗装（20μm以上） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛の付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20g/m²以上）
接触材料	それぞれの側の接触腐食防止処理										
アルミニウム 鋼鉄	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（20μm以上） ・塗布材による保護（合成樹脂/クレンシンの付与） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛めっき付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20μm以上） ・表面処理亜鉛めっき鋼板 片面90g/m²以上 ・亜鉛めっき塗料塗布（30μm以上） 										
アルミニウム アルカリ性材料	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） 										
アルミニウム ステンレス	アルミニウム側 <ul style="list-style-type: none">・陽極酸化皮膜（9μm以上）+クローヤー塗装（7μm以上） ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上） ステンレス側 <ul style="list-style-type: none">・無処理 										
銅 鋼鉄	銅 側 <ul style="list-style-type: none">・クローヤー塗装（20μm以上） 鋼鉄側 <ul style="list-style-type: none">・亜鉛めっき処理（亜鉛の付着量、電気亜鉛めっき8μm以上、溶融亜鉛めっき20g/m²以上） 										
⑥.軽量鉄骨天井下地	1) 軽量鉄骨天井下地材はJISの規格品とする。(14.4.2) (14.4.3) (14.4.4)										
	・ 19形 ・ 25形										
⑦.軽量鉄骨壁下地	1) 軽量鉄骨壁下地はJISの規格品とする。(14.5.2) (14.5.3) (14.5.4)										
	・ 50形 ・ 65形 ・ 90形 ・ 100形 2) 高さが5mを超える場合、中間梁にて分割する。										

5.塗装施工業務	
1.材 料	1) 居室内の塗装仕上げ材は、ホルムアルデヒド発散建築材料（告知規制対象建材）を使用する場合F☆☆☆☆とする。 2) J I S の認定工場の製品とする。
2.素地ごしらえ	1) 木部の素地ごしらえ <ul style="list-style-type: none">・（表18.2.1）により、種別はB種とする。 2) 鉄鋼面の素地ごしらえ <ul style="list-style-type: none">・（表18.2.2）により、種別はC種とする。 3) 亜鉛めっき面の素地ごしらえ <ul style="list-style-type: none">・（表18.2.3）により、種別は工場塗装用はA種、現場塗装用はB種とする。 4) 石膏ボード及びその他ボード面の素地ごしらえ <ul style="list-style-type: none">・（18.2.7）による。
3.錆止め塗料	1) 鉄鋼面の錆止め塗料 <ul style="list-style-type: none">・（表18.3.1）のB種JIS K5621 1種とする。 2) 亜鉛めっき面の錆止め塗料 <ul style="list-style-type: none">・（表18.3.2）のA種とする。
4.錆止め塗料	1) 鉄鋼面の錆止め塗料塗りは、（表18.3.3）のB種とする。 2) 亜鉛めっき面の錆止め塗料塗りは、（表18.3.4）の工場塗装用はA種、現場塗装用はB種とする。
5.合成樹脂調合ペイント塗り（OP）	1) 木部合成樹脂調合ペイント塗りは（表18.4.1）による。（18.4.2) 2) 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りは（表18.4.2）B種とする。
6.木部クローヤー塗り（CL）	1) 亜鉛めっき面合成樹脂調合ペイント塗りは（表18.4.3）による。
7.木部ラッカーエナメル	1)（表18.5.1）A種とする。

工程	塗布量		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
下塗り	JIS K5591	オイルプライマー	0.09
研磨紙ずり	研磨紙 #180		
パテ付け		オイルパテ	
研磨紙ずり	研磨紙 #240		
中塗り	JIS K5593	オイルサーフェサー	0.14
研磨紙ずり	研磨紙 #320による水研ぎ		
上塗り1		ラッカーエナメル	0.08
研磨紙ずり	研磨紙 #400による水研ぎ		
上塗り2		ラッカーエナメル	0.08

8.フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	1) 木部は（表18.6.1）鉄鋼面及亜鉛メッキ鋼面は（表18.6.2）のB種とする。
⑨.合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）	1)（表18.13.1）のA種とする。
10.木部ウレタン樹脂ニス塗り（UC）	1)（表18.16.1）のA種（2液形）とする。

工程	塗料その他		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
下塗り		ウッドシーラー	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #240～320		
中塗り		ウレタン樹脂エナメル	0.14
研磨紙ずり	研磨紙 #320～400		
上塗り1		ウレタン樹脂エナメル	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #400による水研ぎ		
上塗り2		ウレタン樹脂エナメル	0.10

12.2液形ポリウレタンエナメル塗り（2-U-E）	1) 鉄鋼面は（表18.9.1）による。 2) 亜鉛めっき鋼面は（表18.9.2）による。
13.常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（2-F-U-E）	1) 鉄鋼面は（表18.11.1）による。 2) 亜鉛めっき鋼面は（表18.11.2）による。

工程	塗料その他		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
ワイピング	着色剤		
下塗り	JIS K5533	ウッドシーラー	0.10
目止め	目止め剤		
中塗り	JIS K5533	サンジングシーラー	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #180～240		
上塗り1	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.08
研磨紙ずり	研磨紙#320～400		
上塗り2	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.08
研磨紙ずり	研磨紙 #320～400		
仕上げ塗り	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.09

project title

金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務

谷口建築設計研究所

特記仕様書-1

共通事項：
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。

工程	塗布量		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
下塗り	JIS K5591	オイルプライマー	0.09
研磨紙ずり	研磨紙 #180		
パテ付け		オイルパテ	
研磨紙ずり	研磨紙 #240		
中塗り	JIS K5593	オイルサーフェサー	0.14
研磨紙ずり	研磨紙 #320による水研ぎ		
上塗り1		ラッカーエナメル	0.08
研磨紙ずり	研磨紙 #400による水研ぎ		
上塗り2		ラッカーエナメル	0.08

8.フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	1) 木部は（表18.6.1）鉄鋼面及亜鉛メッキ鋼面は（表18.6.2）のB種とする。
⑨.合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）	1)（表18.13.1）のA種とする。
10.木部ウレタン樹脂ニス塗り（UC）	1)（表18.16.1）のA種（2液形）とする。

工程	塗料その他		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
下塗り		ウッドシーラー	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #240～320		
中塗り		ウレタン樹脂エナメル	0.14
研磨紙ずり	研磨紙 #320～400		
上塗り1		ウレタン樹脂エナメル	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #400による水研ぎ		
上塗り2		ウレタン樹脂エナメル	0.10

12.2液形ポリウレタンエナメル塗り（2-U-E）	1) 鉄鋼面は（表18.9.1）による。 2) 亜鉛めっき鋼面は（表18.9.2）による。
13.常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（2-F-U-E）	1) 鉄鋼面は（表18.11.1）による。 2) 亜鉛めっき鋼面は（表18.11.2）による。

工程	塗料その他		塗布量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
ワイピング	着色剤		
下塗り	JIS K5533	ウッドシーラー	0.10
目止め	目止め剤		
中塗り	JIS K5533	サンジングシーラー	0.10
研磨紙ずり	研磨紙 #180～240		
上塗り1	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.08
研磨紙ずり	研磨紙#320～400		
上塗り2	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.08
研磨紙ずり	研磨紙 #320～400		
仕上げ塗り	JIS K5531	ニトロセルロースラッカー	0.09

date

2025.12

15. 木部染色ウレタン樹脂塗装 (2液形)	工程	塗料その他		塗布量 (kg/m ²)
		規格番号	規格名称	
	素地ごしらえ	(表18.2.1) B種		
	ワイピング	着色剤		
	下塗り		ポリウレタンシーラー	0.10
	目止め	目止め剤		
	中塗り		ポリウレタンサンディングシーラー	0.10
	研磨紙ざり	研磨紙 #180~240		
	上塗り1		ポリウレタンクリアー	0.08
	研磨紙ざり	研磨紙 #240~320		
	上塗り2		ポリウレタンクリアー	0.08
研磨紙ざり	研磨紙 #320~400			
仕上げ塗り		ポリウレタンクリアー	0.09	

16. メラミン樹脂焼き付け塗り (B-A-E)	1) 工場塗装とする。			
	工程	塗料その他		標準膜厚 (μm)
		規格番号	規格名称	
	素地ごしらえ	(表18.2.3) A種		
	エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみ等を除去		
	下塗り		エポキシ樹脂プライマー	15~20
	セッティング	5~10分		
	焼付け	熱風乾燥炉	180℃ 20分	
	上塗り1		熱硬化形アクリル樹脂塗料	15~20
	セッティング	10~20分		
	上塗り2		熱硬化形アクリル樹脂塗料	20~25
セッティング	10~20分			
焼付け	熱風乾燥炉	180℃ 30分		

- 2) 焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
3) 裏面は原則として下塗りまでとする。
4) 塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉塵防止を施したクリーンゾーンを形成していること。
17. アンティコ スタック塗り 1) 製造所仕様による。
18. ハンマーートン 塗料塗り 1) 製造所仕様による。
19. スエード調 塗料塗り 1) 製造所仕様による。
20. ストーン調 塗料塗り 1) 製造所仕様による。
21. 多形模様塗料塗り (EP-E) 1) (表18.14.1) (表18.14.2) による。

6. 製造物安全対策

- ① 一般事項 1) 本業務において製作する全てについて、一般の利用者の立場に立った上で対策の必要性及び、使用条件等を監督職員と協議し、双方で確認を行う。
- ② 製作施工上の安全対策 1) 外部調達の材料、部材、部品は、規格・仕様通りに行う。
2) 工場製作、現場施工で、組立時の接続、接着、締め付けが十分か確認を行う。
3) 表面処理・出隅の角処理、材料の切断面等の仕上げが安全面で十分か確認を行う。
4) 製作施工上の不備、危険がないか、調整・検査・試験を実施する。
- ③ 指示・警告上の安全対策 1) 製作施工上の安全化で排除できない危険項目は、十分な警告表示で対応をとる。
2) 警告表示と取扱説明書は、製造物の一部としてとらえ危険使用、誤使用を防止する。

7. 共通事項

※ 特記なき限り、見掛り上の意匠に係わらない軽微な納まり及び見隠れ部分の形状・寸法・仕様は、監督職員の承認を得た上で、各メーカーの仕様とすることが可能である。
※ 金沢市立玉川図書館改修工事に伴う備品選定業務は、建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書を併せて適用する。

共通事項:
金沢市立玉川図書館改修工事は、現代建築レガシー継承事業による1979年に竣工したリニューアル工事であり、本業務は建築本体工事との関連性が非常に高く、素材・仕上げ・工法等の該当部に関しては、建築工事特記仕様書をあわせて適用するとともに、監督員の確認を行い、十分に調整すること。